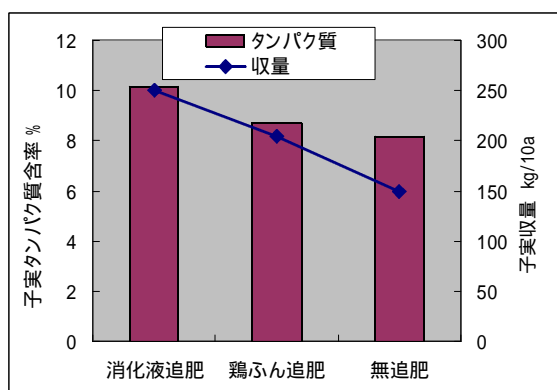


生ごみメタン発酵消化液を利用した 特別栽培小麦等への追肥法

メタン発酵による生ごみ処理で発生する残さ液（消化液）の利用方法を検討しました。小麦の葉面散布追肥として消化液を施用すると、小麦の収量が増加し、タンパク質含量も向上します。特別栽培農産物対応の小麦で、効果的な追肥用の有機質資材として利用できます。また、低タンパク気味な水田小麦でも高タンパクが必要なパン用畑麦でも効果が期待できます。

さらに、簡単な市販資材を使った搭載型散布機（トレーラや軽トラック）を開発しました。およそ20分程度で10aに散布が可能です。



特別栽培水田での成績

消化液の小麦への追肥は、収量増加・タンパク質向上に大きい効果がある。



消化液追肥とパン用小麦の生育



消化液小麦散布機の試作と実証

上：小川町水田（製麺用小麦）

下：狭山市畑（パン用小麦）

10aを20分程度で散布できます。

使用資材：エンジンポンプ、塩ビパイプ、タンク等 およそ5万円程度

（水田農業研究所 生産環境担当 TEL 048-521-5041）